

スプリント0に関するセミナー

尾上俊雄

平成 25 年 2 月 16 日 神戸市須磨区 北須磨文化センター

2月16日、スプリント0 in 神戸 2日間大会の関連イベントとして、1日目のレース終了後、「スプリント0に関するセミナー」が開催された。スプリント0の現状を認識し、正しい普及と発展を図るべく企画されたもので、全国から20数名のオリエンティアが集い、熱心に耳を傾けた。

スプリント0の現状 (尾上俊雄氏)

- ・スプリント競技の概念、ISSOMの制定経緯、スプリント0の現状と課題、テレインの選択、コース、大会運営などについて紹介

スプリント0用地図の現状と課題

(田中徹氏)

- ・スプリント0の特性・特徴、禁止区域への進入による失格問題、競技ルール of 正しい理解と周知の必要性
- ・JSSOMにおける通過に関する記号の説明、0-マップに起因する問題、作図上の注意点
- ・JOA公認大会の地図の現状と図式からの逸脱事例の紹介



スプリント0のコース設定

(尾上俊雄氏)

- ・良いコースとは(4つのポイント: ルート選択、方向転換、レッグ、チェックポイント)
- ・コースの評価法(評点)の紹介とコース設定(奥須磨公園を含む)への適用

スプリント0のテクニック

(松澤俊行氏)

- ・スプリント0に対する心構え、トレーニング方法
- ・奥須磨公園の地図を使った机上練習

全日本スプリント大会のコントロールング

(稲葉英雄氏)

- ・第5回全日本スプリント大会のテレイン選定の経緯、リスク回避と見せるコースなどの工夫
- ・参加者増加策についての提言。

今後のスプリント0

スプリント0は未だ開発段階であり、とりわけ禁止区域や多層構造に関わる地図表記で試行錯誤が行われており、競技面でも世界選手権にリレー競技が採り入れられる。今後とも、マップパー、コースプランナー、運営者ばかりでなく、競技者もスプリント0の最新情報に目を向けておきたい。

一方で、日本では市街地で行われることは難しく、公園や団地・キャンパス等が使われることが多いが、環境面、安全面への配慮もますます重要となる。

(尾上俊雄)

